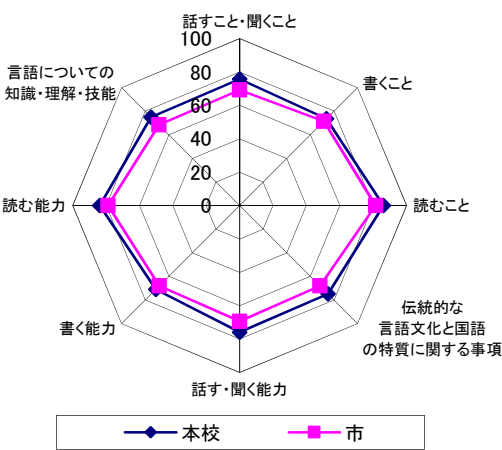


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	75.8	69.3	73.4
	書くこと	73.5	71.3	74.6
	読むこと	86.2	81.5	81.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.9	68.1	71.6
観点別	話す・聞く能力	75.8	69.3	73.4
	書く能力	71.1	68.1	71.7
	読む能力	83.8	78.8	79.0
	言語についての知識・理解・技能	75.0	68.4	72.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均と比べ高い。 ○●話し手の意図を考えながら話合いの内容をまとめる設問の平均正答率は、市の平均正答率を12ポイント以上上回っている。しかし、正答率が5割を下回っているため、課題があると言える。	・国語のみならず、各教科、特別活動等の中で話合い活動への主体的参加を促せるような授業展開を考えていきたい。また、話合いをまとめる時間を十分に確保するなど、内容を振り返ることのできる機会を設けたい。
書くこと	平均正答率は、市の平均と比べ高い。 ○●グラフの内容を読み取って、文章に適切に書き表す設問では、市の平均正答率を13ポイント以上上回っているが、本校の平均正答率が7割に届かず、依然課題があると言える。 ●理由や事例を挙げて文章を書く設問では、市の平均正答率とほぼ同じだが、本校の平均正答率が6割弱となっており、課題が見られる。	・国語に限らずどの教科でも、振り返りを文章で表す時間を意識的に設定し、適切な言葉を選び構成して作文が書けるように指導していきたい。 ・自分の考えとなる根拠や事例などを分けて考える場を設定することにより、文章構成を整理して書く活動を取り入れていきたい。
読むこと	平均正答率は、市の平均と比べ高い。また、他の領域よりも高い。 ○登場人物の心情を読み取る設問では、市の平均正答率を10ポイント近く上回っており、9割を大きく超えている。	・児童が丁寧に文章と向き合えるような時間を今後も大切にして、文章読解に臨みたい。 ・今後も継続して読書を奨励し、児童が文章と親しめる環境づくりに努めたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は、市の平均と比べ高い。 ○●漢字の読みの本校の平均正答率は9割を超えており、一定の習熟が見られる。漢字の書きの平均正答率は、設問ごとにばらつきが見られる。 ○●敬語の使い方を理解する設問では、市の平均正答率を上回るが、習熟には課題が見られる。	・漢字の学習は繰り返し練習を行うとともに、短文づくりや意味調べなど、関連する知識と共に練習することで知識の定着を目指したい。 ・生活の中でも場に応じた言葉遣いを意識させるなど、継続的な指導に努めたい。